

ヘリコプターによる地質調査のお知らせ

(独)エネルギー・金属鉱物資源機構が、ヘリコプターによる地質調査を実施します。

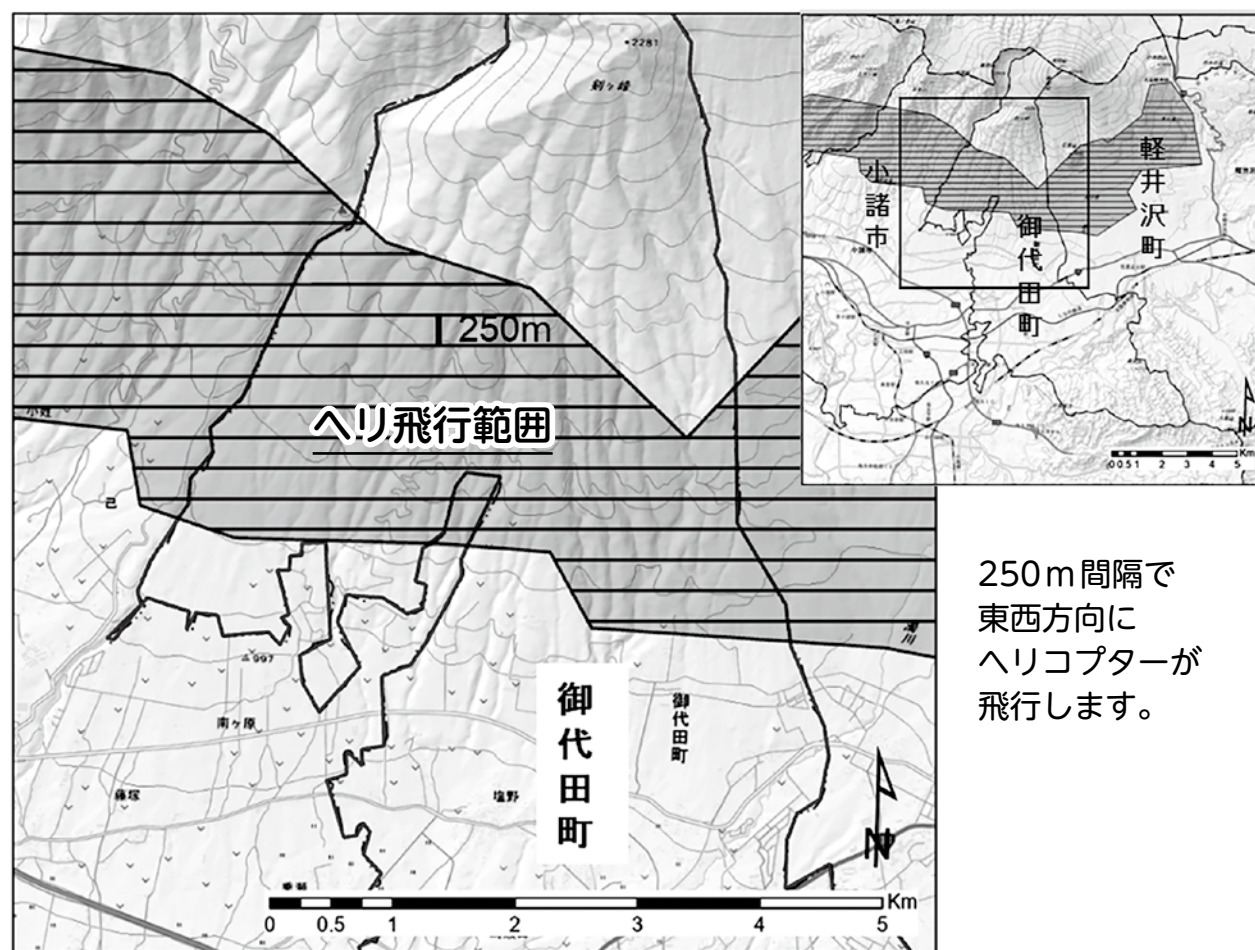
目的 経済産業省の補助事業として行う、全国的な地熱資源の基礎調査の一環で、地域の地下構造データをヘリコプターで収集します。

場所 浅間山地域(長野県側)約30km×約23kmの範囲(御代田町含む)

期間 10月上旬～11月下旬(実際の飛行は好天時の15日程度)

時間 午前6時30分～午後6時30分

皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



250m間隔で
東西方向に
ヘリコプターが
飛行します。

飛行範囲及び飛行側線

—— 飛行計画測線

お問合せ先 (独)エネルギー・金属鉱物資源機構 03(6758)8001

町長財政講座5



財政調整基金を比較しよう

過去2回で町の基金について解説してきました。今回は、基金の中でも自治体ごとの比較がしやすい「財政調整基金」を、一人当たり等で比較してみよう。

「市町村ハンドブック」が便利

市町村同士の比較をする場合、人口が近い同士の比較をするのが妥当です。一般的に、人口の小さな村ほど一人当たりの基金額は大きくなり、人口の大きな市部では一人当たりの基金額は小さくなる傾向があり、比較にあまり意味がないからです。

こういったことを調べるのに便利な冊子があります。「長野県市町村ハンドブック」といいます。この令和5年版を基にして、まずは人口1万人～2万人の町村と比較してみよう。なお、人口は令和4年4月1日現在の数値で、財政調整基金は令和3年度末の数値となります。

自治体間に大きな差

人口1万人～2万人の町村は、県内に13あります。佐久地域では御代田町のほかに佐久穂町(10,605人)があります。この中で一人当たり財政調整基金の額が最も大きいのは木曽町で、44万円余りと断トツでした。その次に来るのが御代田町の18万円余りです。坂城町が17万円台と御代田町に近く、最下位の下諏訪町では5万円台となりました。

今回の結論

類似町村では2位と良好

次回も町村同士の比較により、財政力指数について考えていきます。

財政調整基金の比較

佐久地域2市と北佐久郡3町

自治体名	1人当たり (円)	現在高 (百万円)	人口
軽井沢町	251,284	5,335	21,231
御代田町	180,476	2,897	16,052
立科町	176,327	1,229	6,970
小諸市	87,389	3,649	41,756
佐久市	72,522	7,139	98,439

人口1万人台県内自治体

自治体名	1人当たり (円)	現在高 (百万円)	人口
木曽町	440,959	4,597	10,425
御代田町	180,476	2,897	16,052
坂城町	173,041	2,493	14,407
南箕輪村	143,814	2,277	15,833
佐久穂町	143,329	1,520	10,605
飯綱町	126,762	1,358	10,713
富士見町	124,668	1,786	14,326
辰野町	106,658	2,012	18,864
山ノ内町	95,890	1,120	11,680
小布施町	90,926	1,002	11,020
松川町	69,532	893	12,843
高森町	65,965	852	12,916
下諏訪町	54,573	1,055	19,332

※財政調整基金現在高は令和3年度末の数値
人口は令和4年4月1日の住基人口
いずれも「長野県市町村ハンドブック(令和5年版)」による



過去の講座は
こちらより
ご覧いただけます